

造園科学科 100 周年記念事業プログラム
造園伝統技術の継承と開発のための国際的教育活動
「Sports を支える Turf grass Science ―その実際と今後―」

造園科学科 100 周年記念事業の一環である「造園伝統技術の継承と開発のための国際的教育活動」
」として、今年度標記のプログラムを開講します。対象は、本学学生、社会人(本学他教育機関を含む)
となっています。申し込み方法等にご留意頂き、参加申し込み下さい。
なお、学生参加者が 20～25 名の先着順で締め切りとさせていただきます(社会人参加数により多少の変動あり)。

2025 年 10 月吉日
東京農業大学地域環境科学部造園科学科長 水庭 千鶴子
(担当 : 田中聡 / 中島宏昭 / 鈴木貢次郎 / 高橋新平/)

Sports を支える Turf grass Science —その実際と今後—

東京農業大学地域環境科学部造園科学科 100 周年記念事業プログラム

『造園伝統技術の継承と開発のための国際的教育活動』

■主旨

東京農業大学地域環境科学部造園科学科の前身は上原敬二先生によって 1924（大正 13）年 4 月 1 日に渋谷町常盤松（現・渋谷区渋谷四丁目）の東京農業大構内に現造園科学科の前身である東京高等造園学校が開校されました。2024 年度で 100 周年を迎え、次のような (<https://www.nodai.ac.jp/academics/reg/land/original/100/>) 記念事業を掲げ活動しています。本プログラムはこの事業活動の一環として「造園伝統技術の継承と開発のための国際的教育活動」として位置づけ既に活動しています。その主旨は国内各地及び海外で活躍する日本の伝統造園技術を集約し、造園領域に関わるあらゆる技術の継承と開発のための国際的訓練・教育活動（International Activity for Traditional Technology of Japanese Landscape Architecture）としています。国際レベルの技術継承、伝統技術からの新技術開発、そして人材づくりに資することとし、産官学の連携を促進し伝統技術の公開・継承、ブランド化、そして社員教育(研修)、学生修学、専門職能の向上への働きかけも意図しています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックは東京近郊含めて多くの都市公園や緑地内で開催され、公園緑地の機能のみならず特に屋外におけるスポーツを支えた競技 Ground や Sports Turfgrass クオリティはじめ、管理運営やその体制について世界の注目を浴びました。本プログラムはこれに焦点を絞り、以下の通りの内容を企画いたしました。参加対象は本学学生、社会人(本学他教育機関を含む)としています。申し込み方法等にご留意頂き、ご参加頂きますようお願いしております。

■日程スケジュール

2025 年 11 月 6 日(木)～ 7 日(金)

第 1 日 13:00 集合(東京農業大学 11 号館 6 階実験室) / 受付 / 日程確認など

13:30 講義・演習① ・馬術競技におけるターフグラス・サイエンス

JRA 馬事公苑内の施設と馬場視察見学(概要・馬場・競技施設等の視察)

15:30 馬事公苑終了 東京農業大学 11 号館 6 階実験室 戻り

16:00 講義・演習② ・競技場における Turf Science について(講義)

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを支えた競技場芝生(情報提供)

暖地型・寒地型芝草の生育診断と生育障害の可視化(研究事例)

芝草生育における根の活性診断(研究事例)

17:00 解散

第 2 日 9:00 秩父宮ラグビー場 集合 / 受付

09:30 講義・演習③ Sport turf の管理運営実態

① ラグビー場施設・インフィールド視察見学(補光ライト・送風機等の実機視察)

② インフィールド内におけるペイント(ロゴマーク等)の実際(参加者体験)

③ HIC(頭部外傷基準)メータ(ラグビー競技)による測定の実際(参加者体験)

④ ディポッドフォークによるフィールド補修の実際(参加者体験)

12:30 昼食・休憩

13:30 集合(国立競技場 E ゲート) (〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 1 0 - 1)

講義・演習④ Sport turf の管理運営実態

- ① 国立競技場施設視察とインフィールド内の芝草管理の実態(参加者体験)
- ② 補光装置(LED)を用いた日照時間管理の実際(参加者体験)
- ③ 芝草葉身分析(RQ フレックス法によるグルコース分析)の実際(参加者体験)

17:00 講義・演習終了(予定) まとめ

17:30 交流会(参加希望による交流会) 国立競技場内ラウンジ(予定)

■参加申し込み

学生…Forms で申し込み <https://forms.office.com/r/MXyssjrs17>

なお、社会人の参加もありますので、学生参加者 20～25 名の先着順で締め切りとさせていただきます(社会人参加数により多少の定員変動はありますことを付記いたします)

■費用

学生…講義・演習は無料 但し 11/7 の交流会参加は有料となります(詳細は参加希望者に連絡します)

■主催・共催・運営

主催・運営…東京農業大学地域環境科学部造園科学科

協力…JRA 馬事公苑・日本スポーツ振興センター(秩父宮ラグビー場)・日本サッカー協会・(株)オフィスショウ

(株)ジャパンナショナルスタジアム・エンターテイメント(国立競技場)・(株)農大サポート世田谷オフィス

東京農業大学総合研究所芝草研究部会

活動資金…活動資金(講師料、材料費等)は参加費ならびに 100 周年事業寄付金の一部から運用致します

なお、会計は東京農業大学の経理システムに則ります

■講師・運営・スタッフ

JRA 馬事公苑 (総務・馬場担当)

(独)日本スポーツ振興センター(Japan Sport Council / スポーツターフ調査研究委員会)

(株)オフィスショウ代表取締役 池田省治

東京農業大学 地域環境科学部造園科学科 田中聡/中島宏昭/鈴木貢次郎/高橋新平/